

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公表番号】特表2011-509935(P2011-509935A)

【公表日】平成23年3月31日 (2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2010-542360(P2010-542360)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/195 (2006.01)

C 0 7 K 16/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/195 Z N A

C 0 7 K 16/12

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 31/04

G 0 1 N 33/569 F

G 0 1 N 33/53 D

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月20日 (2011.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の 1 つ以上を含むポリペプチド組成物：

(a) 配列番号 3 ； 配列番号 4 ； 配列番号 5 ； 配列番号 8 ； 配列番号 9 ； 配列番号 1 0 ；
および配列番号 1 1 から成る群より選択される 1 つ以上のアミノ酸配列を含む単離された
ポリペプチド；または

(b) (a) のポリペプチドと少なくとも 9 5 % 同一である単離されたポリペプチド。

【請求項 2】

前記単離されたポリペプチドが、医薬的に許容される希釈剤に分散している、請求項 1 に
記載のポリペプチド組成物。

【請求項 3】

前記 (a) のポリペプチドが、配列番号 3、配列番号 4、および配列番号 5 から成る群よ
り選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記 (a) のポリペプチドが、配列番号 8 ； 配列番号 9 ； 配列番号 1 0 ；または配列番号
1 1 から成る群より選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 8 を含む、請求項 1 に記載の組成物

。

【請求項 6】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 9 を含む、請求項 1 に記載の組成物

。

【請求項 7】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 10 を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 11 を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 3 を含む、請求項 1 に記載の組成物

。

【請求項 10】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 4 を含む、請求項 1 に記載の組成物

。

【請求項 11】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 5 を含む、請求項 1 に記載の組成物

。

【請求項 12】

配列番号 3 ; 配列番号 4 ; 配列番号 5 ; 配列番号 8 ; 配列番号 9 ; 配列番号 10 ; および配列番号 11 から成る群より選択されるアミノ酸配列のうちの 1 つ以上と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 13】

アミノ酸配列配列番号 3 と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 14】

アミノ酸配列配列番号 4 と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 15】

アミノ酸配列配列番号 5 と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 16】

アミノ酸配列配列番号 8 と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 17】

アミノ酸配列配列番号 9 と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 18】

アミノ酸配列配列番号 10 と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 19】

アミノ酸配列配列番号 11 と免疫反応する単離された抗体。

【請求項 20】

モノクローナル抗体である、請求項 12 に記載の抗体。

【請求項 21】

ポリクローナル抗体である、請求項 12 に記載の抗体。

【請求項 22】

個体における免疫応答を誘導するための、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 23】

被験体における E . c h a f f e e n s i s 感染症を抑制するための、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 24】

個体における E . c h a f f e e n s i s 感染症を同定する方法であって、該個体からのサンプルを以下の 1 つについてアッセイする工程を含む方法：

(a) 配列番号 3 ; 配列番号 4 ; 配列番号 5 ; 配列番号 8 ; 配列番号 9 ; 配列番号 10 ;

および配列番号 11 から成る群より選択される 1 つ以上のアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチド；または

(b) (a) のポリペプチドから成る群より選択されるアミノ酸配列と免疫反応する抗体。

【請求項 25】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 3 を有する、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 26】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 4 を有する、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 27】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 5 を有する、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 28】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 8 を有する、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 29】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 9 を有する、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 30】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 10 を有する、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 31】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 11 を有する、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 32】

前記サンプルが、配列番号 17 および配列番号 19 のアミノ酸配列を有するポリペプチドについてアッセイされる、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 33】

前記アッセイが、(b) の抗体についての E L I S A によるものである、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 34】

請求項 1 に記載のポリペプチド組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 35】

請求項 1 に記載の 2 つ以上のポリペプチド組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 36】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 8 を含む、請求項 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 37】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 9 を含む、請求項 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 38】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 10 を含む、請求項 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 39】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 11 を含む、請求項 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 40】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 3 を含む、請求項 1 に記載の組成物

を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 4 1】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 4 を含む、請求項 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 4 2】

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 5 を含む、請求項 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

【請求項 4 3】

請求項 1 2 に記載の 1 つ以上の抗体を含む、適切な容器に収容された、キット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

本発明の追加の実施形態には、本発明のポリペプチド組成物を含む、適する容器に収容された、キットがある。一部の実施形態において、前記キットは、本発明の 2 つ以上のポリペプチド組成物を含む。特定の実施形態において、前記ポリペプチドは、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11、配列番号 3、配列番号 4、および / または配列番号 5 のアミノ酸配列を含む。

本発明の好ましい実施形態では、例えば以下が提供される：

(項目 1)

以下の 1 つ以上を含むポリペプチド組成物：

(a) 配列番号 3；配列番号 4；配列番号 5；配列番号 8；配列番号 9；配列番号 10；および配列番号 11 から成る群より選択される 1 つ以上のアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチド；または

(b) (a) のポリペプチドと少なくとも 95% 同一である単離されたポリペプチド。

(項目 2)

前記単離されたポリペプチドが、医薬的に許容される希釈剤に分散している、項目 1 に記載のポリペプチド組成物。

(項目 3)

前記 (a) のポリペプチドが、配列番号 3、配列番号 4、および配列番号 5 から成る群より選択されるアミノ酸配列を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 4)

前記 (a) のポリペプチドが、配列番号 8；配列番号 9；配列番号 10；または配列番号 11 から成る群より選択されるアミノ酸配列を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 5)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 8 を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 6)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 9 を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 7)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 10 を含む、項目 1 に記載の組成物。

。

(項目 8)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 11 を含む、項目 1 に記載の組成物。

。

(項目 9)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 3 を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 10)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 4 を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 1 1)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 5 を含む、項目 1 に記載の組成物。

(項目 1 2)

配列番号 3 ; 配列番号 4 ; 配列番号 5 ; 配列番号 8 ; 配列番号 9 ; 配列番号 1 0 ; および配列番号 1 1 から成る群より選択されるアミノ酸配列のうちの 1 つ以上と免疫反応する単離された抗体。

(項目 1 3)

アミノ酸配列配列番号 3 と免疫反応する単離された抗体。

(項目 1 4)

アミノ酸配列配列番号 4 と免疫反応する単離された抗体。

(項目 1 5)

アミノ酸配列配列番号 5 と免疫反応する単離された抗体。

(項目 1 6)

アミノ酸配列配列番号 8 と免疫反応する単離された抗体。

(項目 1 7)

アミノ酸配列配列番号 9 と免疫反応する単離された抗体。

(項目 1 8)

アミノ酸配列配列番号 1 0 と免疫反応する単離された抗体。

(項目 1 9)

アミノ酸配列配列番号 1 1 と免疫反応する単離された抗体。

(項目 2 0)

モノクローナル抗体である、項目 1 2 に記載の抗体。

(項目 2 1)

ポリクローナル抗体である、項目 1 2 に記載の抗体。

(項目 2 2)

個体における免疫応答を誘導する方法であって、治療有効量の項目 1 に記載の組成物を該個体に送達する工程を含む方法。

(項目 2 3)

被験体における *E . c h a f f e e n s i s* 感染症を抑制する方法であって、有効量の項目 1 に記載の組成物を被験体に送達する工程を含む方法。

(項目 2 4)

個体における *E . c h a f f e e n s i s* 感染症を同定する方法であって、該個体からのサンプルを以下の 1 つについてアッセイする工程を含む方法 :

(a) 配列番号 3 ; 配列番号 4 ; 配列番号 5 ; 配列番号 8 ; 配列番号 9 ; 配列番号 1 0 ; および配列番号 1 1 から成る群より選択される 1 つ以上のアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチド ; または

(b) (a) のポリペプチドから成る群より選択されるアミノ酸配列と免疫反応する抗体。

(項目 2 5)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 3 を有する、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 2 6)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 4 を有する、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 2 7)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 5 を有する、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 2 8)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 8 を有する、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 2 9)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 9 を有する、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 3 0)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 1 0 を有する、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 3 1)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 1 1 を有する、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 3 2)

前記サンプルが、配列番号 1 7 および配列番号 1 9 のアミノ酸配列を有するポリペプチドについてアッセイされる、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 3 3)

前記アッセイが、(b) の抗体についての E L I S A によるものである、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 3 4)

前記個体からサンプルを得ることをさらに含む、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 3 5)

項目 1 に記載のポリペプチド組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 3 6)

項目 1 に記載の 2 つ以上のポリペプチド組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 3 7)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 8 を含む、項目 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 3 8)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 9 を含む、項目 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 3 9)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 1 0 を含む、項目 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 4 0)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 1 1 を含む、項目 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 4 1)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 3 を含む、項目 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 4 2)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 4 を含む、項目 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 4 3)

前記 (a) のポリペプチドが、アミノ酸配列配列番号 5 を含む、項目 1 に記載の組成物を含む、適切な容器に収容された、キット。

(項目 4 4)

項目 1 2 に記載の 1 つ以上の抗体を含む、適切な容器に収容された、キット。